

ケーススタディ:TDK株式会社『TDK環境活動2015』2008年度実績

実施項目	2008年度目標			実績	
	対象	目標値	主な施策		
1. 温暖化対策	(1) 生産拠点における取り組み	グローバル	・ CO ₂ 排出量を2005年度比3%以上削減	① エネルギー原単位前年度比1.5%以上改善	CO ₂ 排出量2005年度比10.1%増加 (2007年度比3.8%増加)
		日本	・ CO ₂ 排出量を1990年度比1%以上削減	① エネルギー原単位前年度比2.0%以上改善 (うち固定エネルギー前年度比1.0%以上削減) ② 生産方法、設備改善による固定エネルギー削減	CO ₂ 排出量1990年度比5.9%増加 (2007年度比5.5%減少)
	(2) 物流における取り組み	グローバル	・ 物流に関わるCO ₂ 排出量の削減	① CO ₂ 排出量の把握検討	製品の物流に関わるCO ₂ 排出量把握システムの海外展開検討
		日本	・ CO ₂ 排出量を2006年度比2%以上削減	① エネルギー原単位前年度比1.0%以上削減	CO ₂ 排出量2006年度比28.4%減少 (2007年度比16.5%減少)
2. 排出物対策	グローバル	・ 総排出量を2006年度比2%以上削減	① ゼロエミッションの維持 ② 排出物原単位前年度比1.0%以上改善 ③ 有価物化の推進	総排出量2006年度比9.9%削減 (2007年度比8.5%削減)	
	日本	・ 総排出量を2006年度比2%以上削減	① 社外再資源化原単位前年度比1.0%以上改善 ② 有価物化の推進	総排出量2006年度比11.0%削減 (2007年度比14.3%削減)	
3. 環境リスク管理 (VOCの大気放出量の削減)	日本	・ VOCの大気放出量を2000年度比28%以上削減	① 自主行動計画(設備導入・工程改善・排出量管理)の実施	VOCの大気放出量 2000年度比33%削減	

4. 環境配慮型製品の創出推進 (製品環境マネジメントシステムの運用)				
(1) 購買における取り組み (サプライヤー)	グローバル	化学物質のリスク管理 (国内外法規制対応およびREACH対応)	① 化学物質データベースの構築 ② MSDSの更新 (海外は各国事情による) ③ 製品含有化学物質情報開示システムの検討 (REACH対応)	・購入化学品のデータベース化 完了 ・国内全購入先(化学品)へGHSの説明連絡実施。 目標:2011年までに100%更新
(2) 設計・開発における取り組み 及び製造における取り組み	日本	全ライフサイクルを通じた製品の環境 負荷低減の推進	① ライフサイクルアセスメント(LCA)評価新基準の確立 ② 代表製品のLCA評価の実施	・電子情報技術産業協会(JEITA)電子部品部 発行 「電子部品LCAガイド」の作成に主体的に参加 ・LCA日本フォーラムより、以下汎用電子部品の標準LCIデータを 公表 (積層セラミックチップコンデンサ) (積層インダクタ) (チップ固定抵抗)
(3) 販売における取り組み(顧客)	グローバル	顧客要求を満足する製品環境情報の 開示	① 顧客製品環境調査回答率100% ② REACH規則に関する情報開示 ③ REACHに関する社内協議体制の確立	・顧客製品環境調査回答率100%の維持 ・REACH規則:10月28日公表の高懸念物質(15物質)に関し、EU 納入製品について情報開示を実施
		環境配慮型製品の拡販	① 「環境優良品カタログ(初版)」の作成と拡販	・2008年9月に優良環境製品認定制度(ECO LOVE製品)開始、 公表

● 単年度目標

実施項目	2008年度活動目標			実績
	対象	重点評価項目	主な施策	
5. 環境マネジメントシステムの向上	日本	① 経営評価制度に基づく評価実施 ② EMS評価制度に基づくシステム及びパフォーマンスの向上 重点評価項目 (a) 遵法 ・自主管理基準に基づく予防管理の実施 管理基準の上限值(平均値+3σ)を法規制値の50%以下 ※ NOx、pHは現状維持以上 (b) 環境コミュニティ ・環境保全活動への積極的参加・参画(従業員の30%以上) ・地域社会との環境交流の実施(年1回以上の企画・開催) (c) EMSの運用状況 ・有益な環境側面を考慮したテーマ設定とその推進 ・エネルギー管理体制構築度の維持(評価点95点以上 把握率85%以上) ・CO ₂ 換算による環境影響評価結果を利用したテーマの発掘 ・現場パフォーマンス監査の推進	① 経営評価制度に基づく評価実施 ② EMS評価制度に基づくシステム及びパフォーマンスの向上 (a) 遵法 ・自主測定による法規制値超過1件 (b) 環境コミュニティ ・環境保全活動へ延べ6,590名参加/参画 ・地域社会との環境交流へ65件参加 (c) EMSの運用状況 ・各サイトで取り組み、テーマの設定を実施 ・エネルギー管理体制構築度を維持 ・CO ₂ 換算による環境影響評価を実施継続 ・現場でのパフォーマンスを重点とした監査を実施	
	海外	① 経営評価制度に基づく評価実施 ② EMSに基づく継続的改善 重点評価項目 (a) 遵法 ・法規制値の遵守 ・自主管理基準に基づく予防管理の実施 (b) 環境リスク管理 ・化学物質の環境への排出状況の把握 (c) 環境コミュニティ ・環境保全活動への積極的参加/参画 (d) 有益な環境側面を考慮したテーマ設定とその推進 (e) 土壌リスク評価結果に基づく予防管理の実施 (f) OHSMSの導入	① ② EMSに基づく継続的改善 (a) 遵法 ・自主測定による法規制値超過1件 ・自主管理基準に基づき予防管理を実施 (b) 環境リスク管理 ・化学物質の排出量を把握 (c) 環境コミュニティ ・各地域の環境保全活動へ積極的に参加/参画した (d) 有益な環境側面を考慮したテーマ設定とその推進 ・各サイトで取り組み、テーマの設定を実施 (e) 土壌リスク評価結果に基づく予防管理の実施 ・土壌リスク評価を実施 (f) OHSMSの導入 ・新たに11拠点にOHSMS導入済 (内4拠点OHSAS18001認証取得)	